

Topics

「産学官連携“関西活性化”フェア」開催

平成22年11月17日・18日の両日「マイドームおおさか」において、「産学官連携“関西活性化”フェア」を開催いたしました。

当フェアは、近畿経済産業局・大阪府商工会議所連合会・関西経済連合会のご後援をいただき、関西の主な「産・学・官」の皆さまと“出会う、触れる、尋ねる”という機会を持っていただける場として企画いたしました。

「アジア・チャイナ」コーナーには、企業のアジア進出を支援する、当行の蘇州駐在員事務所と蘇州市も出展。また、講演会場では、「イノベーションセミナー」や「産業を興す“関西パワー”とは？」をテーマとした数々の講演会、さらに、中国・蘇州市から講師を招き、「企業誘致セミナー」も開催され、「活力ある明日の関西を目指す」フェアとして、大勢の皆さまにご来場いただきました。



当行もスポンサーとなり、上海万博で人気を集めた「夢ROBO」も特別出展。

近畿大学、龍谷大学、和歌山大学と「産学連携協定」締結

平成23年2月24日に近畿大学と、3月8日に龍谷大学と、そして5月24日に和歌山大学と相次いで「産学連携協定」を締結いたしました。

それぞれの大学の研究分野を活かした企業との技術相談や共同研究を推進するとともに、今後、各大学発ベンチャー企業や産学連携を行う企業などに対する投融資制度の創設も検討してまいります。

これにより連携協定締結の大学は10校となりました（これまでに、関西学院大学、甲南大学、同志社大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、関西大学と締結）。

これからも当行は、産学連携ネットワークを活用し、地元経済発展のお役に立ちまいります。



近畿大学 畑学長



龍谷大学 若原学長



和歌山大学 山本学長

堺市と「産業振興連携協力協定」を締結

当行と堺市は、中小企業振興を核とした、堺市経済の持続的発展を目指し、平成23年3月11日に「産業振興連携協力協定」を締結いたしました。当行の持つ産学官のネットワークやノウハウを生かし、堺市の産業振興策と連携して、様々な取組を実施してまいります。

さらに、今回の協定を機に、当行では「堺市産業振興ファンド」を創設いたしました。

また、5月27日には、相互の連携により「協定締結記念シンポジウム」を開催いたしました。今後も、ビジネス商談会や海外進出セミナーの開催等を実施していく予定です。

なお、当行も堺市もこのような包括的な協定を締結することは初めてです。



服部頭取兼CEO 竹山 堺市長

平成22年度ニュービジネス助成金“地域起こし大賞”など決定

新規性・独創性のあるビジネスプランを有する企業や起業家を応援する「ニュービジネス助成金」は、平成15年の創設以来、今回までの応募累計が1,154件となり、当制度は、関西の企業や起業家に広く認知され、定着してまいりました。

11回目となる今回も、幅広い分野から144プランの応募があり、産学官連携による「ニュービジネス目利き委員会」により審査が行われました。

その結果“地域起こし大賞(300万円)”1プラン、“優秀賞(100万円)”2プラン、“奨励賞(50万円)”10プランが選出され、平成22年11月17日の“関西活性化フェア”の会場において授賞式を行いました。

今回までの表彰企業の総数は117社、助成金の総額は、8,000万円を超える規模になりました。



第11回「中国・蘇州 経済ミッション」第4回「中国・蘇州、上海 経済視察団」を派遣

平成22年6月23日から4日間の日程で、「中国・蘇州経済ミッション」として、蘇州市呉中経済開発区をはじめとした工業団地や、現地に進出している日系企業等を視察いたしました。

当行支店長や若手行員も参加するこの経済ミッションも、今回で11回目となりました。

さらに、10月17日～20日までは、当行お取引先の経営者の方々による「中国・蘇州、上海 経済視察団」が派遣され、蘇州市人民政府への訪問、呉中区経済貿易大会への参加など経済交流の拡大に努めました。

また、6月26日に現地で開催された「蘇州市・池田市友好都市30周年記念式典」では、蘇州市名誉市民でもある当行の服部頭取が、唯一の民間代表としてスピーチさせていただきました。

当行は今後も、中国との“強い絆”のもと、日中両国の『架け橋』として、より一層お役に立ちまいります。



中国・蘇州市の周副市長一行が来行

平成23年2月23日に、中国蘇州市の周偉強副市長一行が当行を訪問されました。21年の閻立市長、22年の張躍進副市長に続く訪問となり、日本の地方銀行で唯一、蘇州市に駐在員事務所を開設している当行と同市の友好関係を一層深めることとなりました。

蘇州市へは、これまでに160名を超える当行役職員を経済視察団として派遣してきました。

今後も研修生の派遣等を積極的に進め、お客さまのアジア・チャイナ・ビジネスへの対応力・サポート力を強化してまいります。



「呉中区企業誘致セミナー」に単独協賛

平成22年4月8日、ヒルトン大阪において開催された「中国蘇州市呉中区企業誘致セミナー」に単独協賛いたしました。

呉中区は「呉文化」発祥の地として長い歴史を持ちながら、近年は経済産業都市としての発展がめざましく、大規模な工業団地の整備も進められ、日系企業も数多く進出しております。

当行は地銀初の蘇州駐在員事務所を開設以来、当セミナーに毎年協賛したり、度々中国経済ミッションを派遣するなど、蘇州市をはじめ、中国との経済・文化交流に努めております。

引き続き、「蘇州駐在員事務所」と「アジアチャイナ本部」との連携を強化し、お取引先企業に対して、価値のある情報を提供してまいります。



関西学院大学の「KGビジネスプランコンテスト」を共催

当行は平成16年に、関西学院大学と産学連携協定を締結しておりますが、その一環として、毎年11月に行われる同大学の「KGビジネスプランコンテスト」も共催しております。

このコンテストは、関西学院グループの大学生・高校生・中学生や提携校の学生から寄せられた「新規企業への提案や起業のアイデア」を競うものです。

平成22年11月20日には、最終選考会として、公開プレゼンテーション審査会が行われ、学生・生徒とは思えない本格的なビジネスモデルが発表されました。

若い方々の発想から、新しいビジネスが生まれることを願っております。



Topics

新銀行の新設1号店「夙川支店」 平成22年11月19日オープン

新銀行の店舗ネットワーク拡充への取組みとして、平成22年11月19日、西宮市に「夙川支店」を開設いたしました。出店場所は、10月24日に全線開通した山手幹線に面しており、お車でのご来店も便利な場所です。

新店舗は、広くて利用しやすい専用駐車場をご用意し、全自動貸金庫とご相談業務は、平日に加え土曜日も午後5時までご利用いただけます。また、セミナーや展示会などの各種イベントにもご利用いただける「多目的スペース」を設け、西宮市の中核店舗として、地域の金融サービス向上を目指してまいります。

さらに屋上緑化をはじめ、電動バイクの導入など、地元環境保全に配慮した、便利で安心でやさしい店舗です。



「東岸和田支店」、「京都支店」、 「大阪支店・本町支店」が相次いで移転オープン

平成22年12月6日、「東岸和田支店」がJR阪和線・東岸和田駅東側ロータリー前に、移転オープンいたしました。お買い物ついでに、お勤め帰りに、より便利にご利用いただけます。

また、平成23年3月28日に、「京都支店」が地下鉄烏丸線と東西線が交差する「烏丸御池駅」近くに、より広くより便利になって移転オープンいたしました。

さらに、4月11日には、「大阪支店」と「本町支店」の2つの店舗が「地下鉄本町駅」近くの同じビルに移転し、同一フロアで営業を開始いたしました。いずれも、ゆっくりご相談いただけるスペースやセミナールームを設置しております。



東岸和田支店



京都支店



大阪支店・本町支店

「日本の元気」を取り戻すため 復興応援に取組んでいます

このたびの東日本大震災の被災地の復興に役立てていただくために「復興応援定期預金」を発売いたしました。お客さまよりお預入いただいた金額の0.1%相当額を、当行の負担により日本赤十字社を通じて義援金として寄贈いたします。お取扱いは、平成23年9月30日まで。

また、今回の震災により、直接・間接を問わず経営に影響を受けられた法人および個人事業主の皆さまを対象に、「復興応援融資」をお取り扱い。さらに、堺市との「産業振興連携協定」に基づく「堺市震災緊急資金融資」も創設いたしました。

「日本の元気」は、「関西の元気」から！日本の元気を取り戻すために、当行も微力ながら復興を応援すべく取り組んでまいります。



日頃のご愛顧に感謝して 「宝塚歌劇・貸切公演」を開催

平成22年11月27日、「宝塚歌劇・貸切公演」を開催いたしました。今回は、当行のイメージガール野々すみ花さんがトップ娘役の宙組公演、ミュージカル『誰がために鐘は鳴る』。

総合司会は、元宝塚歌劇団の華陽子さん（1988年から5年間、旧池田銀行のイメージガール）がつとめました。

この貸切公演は、「すみれの花定期預金」にお預入れいただいているお客さまを抽選でご招待いたしました。「すみれの花定期預金」は、インターネットで全国どこからでもお預入れいただけますので、宝塚歌劇ファンの皆さまからもご好評をいただいております。



関西で芸術を志す若い力を応援 2012年“カレンダー原画”公募

「地域のため、地域の皆さまのお役に立ちたい」との願いから、関西で芸術を志す若い力を応援するため、平成19年から「カレンダー原画」の公募を実施しております。

昨年は、37大学から、前回は大幅に上回る1,322点の作品をご応募いただきました。これらの中から、「最優秀作」1点、「佳作」5点を選出のうえ、最優秀作品を当行の2011年カレンダーのメインビジュアルとして採用させていただきました。

5回目となる今年も、2012年用の作品を8月31日まで募集しております。

これからも地元銀行として、地域文化の発展、地域社会の活性化に貢献できますよう、様々な活動を行ってまいります。



昨年の表彰式

自然環境保全活動に 当行の行員と家族が参加

当行は、緑を増やすことで地球温暖化を防止し、次世代の子供たちや動物に暮らしやすい環境を残すことを願って、さまざまな活動に積極的に参加しております。

平成23年2月27日に開催された「第8回・共生の森植樹祭」には、当行の行員とその家族がボランティアとして参加いたしました。

「共生の森」は、大阪府やNPO、企業等の団体が協働で堺市臨海部の廃棄物処分場跡地で「森づくり」を進めているもので、自然の回復力を活かしながら、野鳥や小動物が生息する大規模な“ピオトープ”を創造していくという取り組みです。

当行は、これからも地元銀行として、地域社会のお役に立つよう様々な活動を行ってまいります。



第18回泉州国際市民マラソン開催

平成23年2月20日、「第18回泉州国際市民マラソン」が開催されました。堺市の浜寺公園をスタートし、泉佐野市のりんくう公園をゴールとする、日本陸連公認のフルマラソンコースに2,878人の選手が参加、総合優勝者には、「池田泉州銀行 頭取杯」が授与されました。

当日は、当行の行員約160人を含む約4,000人がボランティアとして参加し、沿道観客数も26万人を超える地域を挙げてのビッグイベントとなりました。

地元の9市4町が一つになって、地域の活性化と国際化を目的にスタート

したこのイベントに、当行は本大会の前身である「第1回泉州千亀利マラソン」から、特別協賛企業として応援を続けております。



このたびの「東日本大震災」で被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興と皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

当行は、被災地の復興に役立てていただくため、義援金2,000万円とグループ役員からの募金1,307万円、あわせて3,307万円を日本赤十字社を通じて寄贈いたしました。今後も様々なかたちで復興を応援すべく取り組んでまいります。

池田泉州銀行杯争奪 「泉州市民卓球大会」開催

地域のスポーツ振興、健康や福祉の増進、子供の健全育成などに寄与することを目的として、泉州市民卓球実行委員会が定期的に卓球大会を開催しております。

当行は毎年、池田泉州銀行杯争奪「泉州市民卓球大会」として協賛しており、平成23年2月27日も、高石市の大阪府立臨海スポーツセンターにおいて、小学生から大人まで約200名が参加して開催されました。

平成11年7月に始まった本大会は、誰もが気軽に楽しめる大会となっており、当行は、第1回大会より協賛企業として応援を続けております。

